

APITオートバックス東雲で

「用品大賞2021」受賞製品一堂に

初の展示即売会

日刊自動車新聞社の「用品大賞2021」で受賞した製品の展示即売会が5日、APITオートバックス東雲（東京都江東区）で行われた。受賞企業のうち16社が出展。受賞製品の紹介やデモンストレーションを披露したほか、新製品の披露や発売前情報の告知などを行った。

PIAAは、「安全サポート部門」で受賞した「ヘッドライト&テールライト融雪ヒーター」を実物のヘッドライトに取り付けたサンプル品を展示。また、融雪ヒー

ターの発熱温度が外気温プラス60度（現行モデルは50度）で電圧24ボルトの大型車にも対応する改良モ

デルを発売することも発表した。

「アウトドア用品部門」で受賞したエーモン工業は、2020年2月に立ち上げた「OGC（アウトドア）」ブランドの製品を展示販売し

「大型車部門」で受賞したバスクは、乗用車用のタイ

クル付きベルトなど幅広いアウトドア関連用品を展示している。今後は、アウトドア専門店などにも販路拡大を検討しているという。

今村浩営業部長は「長距離運転のドライバーだけではなく、日常の買い物でしかクルマを使わない高齢ドライバーにもお勧めできる。TPMSの普及がさら

に進めば、廉価版の製品開発に着手したい」と話した。

日刊自動車新聞用品大賞は毎年実施しているもので、アフターマーケットで注目を集めた製品を部門ごとに表彰している。34回目を迎えた今回、受賞企業が

16社が出展 新製品など披露



APITオートバックス東雲の特設ブースで開催した



阿部商会は「スリー」ブランドのルーフトップテントを装着したデモカーを出展